



進路だより

静岡県立袋井特別支援学校

No.4 R4. 11. 30

○高等部2年生の「挑戦」

今年度は、昨年度の学校生活や現場実習の経験を踏まえて、年度初めからそれぞれが強みを伸ばすこと・課題の克服に取り組んできました。その成果を発揮する【自分への挑戦】として10月の現場実習に臨みました。

○働くために必要な力とは

--- Q【あなたは仕事をするうえで何が大事だと感じましたか】 ---

A、仕事の出来よりも、毎日出勤することが大事だと感じた

A、お金を貰って働くということは、休めないと思う



実習終了後、実際に学習の中で生徒から出た意見です。様々な実習先の方からも「仕事は続けていればできるようになります。仕事に向きあえる状態で、出勤できることが大事です。」というお話をよく伺います。特に企業就労を目指す生徒には、通学前や実習期間中、自分で体調管理ができることを大前提に求められます。

挑戦したことで充実した実習になった一方、働くことの厳しさも感じた実習だったようです。就労する際には、御家庭のサポートも必要とされます。もし、家を出ることに弱気になっているお子さんの姿があるようでしたら、「いってらっしゃい」という温かな声かけなど背中を押していただけるようお願いいたします。

○卒業後を想像して 【10月実習中の出来事】

朝、出勤すると事業所が閉所していた。困った生徒 A さんは近くにある同じ系列の事業所に歩いて向かい、休みであることを知った。その後、学校と保護者に自分で電話をして指示を受けて帰宅した。困ったときに、自分の持っている力で問題解決できた。

上記の話は今回の実習で実際に起こった出来事です。もし、御家庭でこのような事態になったとき、お子さんはどのように対応をするでしょうか。この御家庭では、事前に近くの事業所を見に行っていたこと、困ったときどうするかを一緒に考えていてくれたことで、落ち着いて対応できました。普段の生活でサポートや見守りをするのが、お子さんの生きる力を伸ばしていけると考えられます。

しかし、すぐにできることではなく、根気強く積み重ねていくことが大事だと思います。最近のニュースの中で切符のデジタル化という記事がありました。これは一つの例ですが、キャッシュレスが進む世の中で、私達も金種や買い物学習など指導に悩む日々です。生活していく力を身に付けることができるよう、様々な経験する場が必要だと思います。



この便りは、学校ホームページからも御覧いただけます。

学校ホームページ用アドレス

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/fukuroi-sh/home.nsf>

進路便り ⇒

